

前回 4 月 20 日の例会記録

出席の状況

会員数 55名 (内出席免除 3名) 出席者数 38名 欠席者数 17名

出席率 70.37% 前々回訂正 81.13%

欠席者 相原, 原, 岩本, 加戸, 金子, 川本, 橘高, 家守, 小橋, 児島, 仲田, 丹治, 槌田, 氏房, 山本, 横山, (平野)

ビジター

岡山RC 貝畑 雅二 様

S.A.A.



竹下俊彦様(岡山西南RC)



堀川会員

昨日の地区研修・協議会に出席された5名の方、ご苦勞様でした。



竹下俊彦先生、本日はお忙しい中、卓話をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。今まで一度も少林寺「六段の技」を見せていただいております。日笠(常)会員さんが、本日その理由が判るものと期待しております。



原田会員

先日は、歴史同好会様「はまゆう」御利用ありがとうございました。私も楽しい一時をすごせました。



岡本(浩)会員

あれから四十年、結婚記念日の花が届きました。出前の寿司を前に、家内に「貴女も遅しくなられて」と申しましたら、薬を呑むのを忘れない様にと注意されました。金婚式を目標に頑張ります。ありがとうございました。

以上,5件 16,000円(累計 952,000円)

会長報告

歩くことは健康によく肥満解消などにつながりますが、早歩き程度の少し強めの運動を毎日30分以上続けると脂肪肝が大きく改善され、中性脂肪の値が激減し体の内部から健康を取り戻せるそうです。食事について、人類は何百万年前から空腹を満たす為に力をふりしぼって獲物を獲得してきました。いわばお腹がすいているのが正常な状態で、極端な健康法ですが南雲吉則先生の「1日1食」主義というのもよいかも知れません。

会長 小松 忠 男



幹事報告

幹事 鴨 井 利 典

①岡山北RC名誉会員・パストガバナー高知床志様が、昨日ご逝去されました。お通夜は、本日18時から、告別式は明日4月21日12時から13時30分迄、岡山市平井のエヴァホール岡山で執り行われます。

②昨日の地区研修・協議会にご出席の皆様、お疲れ様でした。

③「盲導犬くらぶ」を回覧致します。

④国際ロータリー日本事務局より、堀川会員にマルチプル・ポール・ハリス・フェローの襟ピンが届いております。

⑤昨日の地区研修・協議会において、2013-14年度 End Polio Now:「歴史に1ページを刻もう」キャンペーンの感謝状を頂きました。



ピン・感謝状 贈呈式



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証襟ピン贈呈
(堀川辰也会員2回目)



2013-14年度 End Polio Nowキャンペーン
感謝状贈呈

外部卓話

現代における武道の意義～法で守られた現代において武道を修練する意味～

山陽鑑定コンサルタント株式会社 代表取締役 竹下 俊彦 様(岡山西南RC)

本日は岡山北西ロータリークラブの卓話にご招待いただき、ありがとうございます。

私は、武道の道場を出しているわけではなく、単なるいち修行中の身ですので、武道全般について充分理解できていませんし、まだまだ未熟で、皆さんに高いところからお話できる立場ではありませんが、平和国家として銃砲・刀剣類の所持が原則禁止されている日本で、戦いの技術である「武道」を修練する意義とは何なのか、ということについて「現代における武道の意義」というタイトルで少しお話ができればと思います。

現代武道と呼ばれるものは、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の9種類です。その他古武道と呼ばれる武道も多く存在します。

その成立時期を概ね明治で区分して、現代武道と古武道に分類しているようです。

武道とは、戦いの技術を、武器を持ってあるいは無手で修練するものであり、現代ではスポーツとしての側面、格闘技としての側面、そして護身術としての側面があると思います。

平成24年度から中学校で武道必修化となり、文部科学省ではガイダンスとしてその中に「武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。」と記載されており、スポーツとしての側面が強く打ち出されています。

しかし、柔道の創始者である嘉納治五郎が、「精力善用・自他共栄」を唱え、少林寺拳法の創始者である宗道臣が「自己確立・自他共栄」と述べているように、武道を修練して心身共にしっかりした自己を確立するのみならず、社会全体が共に栄え、平和で豊かな世界を作っていくという社会に対する貢献がなければ、現代で武道を行う意義は無いと思っています。

日本武道館に日本武道競技会という団体があり、そこで武道の理念として次のとおり述べています。

心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う、国家、社会の平和と繁栄に寄与する人間形成の道である。

私は、「平和と繁栄に寄与する人間形成の道」ということを常に意識して、これからも修練を続けていきたいと思っています。
(竹下様のご希望により、写真を掲載しておりません。)

クラブ情報

歴史同好会第二回定例会

歴史同好会幹事 岡本 和夫

4月16日(木)18時30分より「はまゆう」において、17名の会員が参加し開催されました。今回は、岩本会員が「暦を考える―新暦及び旧暦の由来とそのしくみ―」と題して約30分間お話しされ、皆さん熱心に聞き入っていました。

次回は6月9日(火)、岡本浩三会員が「歌舞伎の歴史と楽しみ方」について話されます。

〔歴史同好会 講話〕 暦を考える ―新暦及び旧暦の由来とそのしくみ― 岩本 一寿 会員

こよみの語源は、「日を数えて読むこと」カヨミから転化した言葉だといわれている。暦の作りかた(暦法)は、世界中で何十数種もあるが、大別すれば、自然景観の推移に季節の動きを知る「自然暦」、月の周期的変化を基礎とした「大陰暦」、大陰暦で計算して、季節との調整を試みた「大陰太陽暦」(通常我々が陰暦とか旧暦とか呼んでいるもの)、太陽年(回帰年)を一年の単位とする「太陽暦」に分けることが出来る。

それぞれの暦法には長所と短所とがあり、完璧なものはない。今、日本を含めて世界中の大部分の国で使用されている暦法は、太陽暦の中のグレゴリー暦と呼ばれているものである。太陽暦は古代文明の発生地エジプトであるとの学説が支配的のようである。

その後、ローマ時代のユリウス・カエサル政権時に「ユリウス暦」を制定した。これは、エジプトですでに制定されていた暦を参考とした、つまり一年を365日4分の1と計算し、平年は365日、4年毎に366日とし閏年とするものである。

ユリウス暦は一年を365.25日と計算しているため、実際の一年に比して11分14秒ほど長くなっている。このため、128年たつと誤差は一日になる。1582年、ローマ法王グレゴリー13世はついにユリウス暦の改革を断行した。この暦法はグレゴリー暦と呼ばれ、現在我々が使用しているものである。グレゴリー暦は、一年を365.2422日に近い365.2425日としている。そのために400年間に3回閏年を省略することにした。その方法は、普通西暦年数が4で割切れる年を閏年としているが、新たに100で割切れる年で400で割切れない年は閏年としないという規定を付け加えたのである。

東洋の独立国では日本が最初にグレゴリー暦を採用した。明治5年である。則ち、明治5年12月3日をもって明治6年1月1日と改め、太陽暦を実施することの詔書が發布されている。

改暦断行にあたって政府は殆んど何の広報活動もせず、まして民衆に改暦の意義や、太陽暦の長所を説得するような姿勢は皆無であったそうである。何しろ人々に頒布すべき暦がまだ製造されていなかったのである。長い目で見たとき、太陽暦に改暦したことは先見の明であったといわねばならないが、当時は無謀ともいうべき改暦を何故急に強行したかについては、実は明治6年6月に閏月がやって来るという事実に対して、決断を余儀なくされたというのが、真相のようである。

当時の会計年度は暦年と同じであったから12月を大半切捨てて改暦すれば閏6月がなくなり、さらに明治5年12月は2日しかないため俸給を支払う必要がなかった(明治4年9月から官公吏の月給制実施)。かくして2ヶ月分の支出を節約することができたのである。

今日我々は陰暦というものを殆んど理解しておらず、ただ単に旧暦と気易く呼んでいるが実はこの陰暦というものは計算が複雑で、かつ、暦法も数多いのである。我国に暦が使われ始めたのは推古朝の頃といわれている。古代中国の暦法が百済を通じて導入されたものである。

旧暦の理論はご存知のように、月の満ち欠けを1ヶ月としている。現在の天文学ではこの周期を「朔望月」と呼んでいる。時によりその長さには変動があるが、平均すると、29.530589日になる。約29日半であるので、旧暦では29日の「小の月」と30日の「大の月」とを交互に置いている。当分の間、日付と月の形とは半月以内の差でいつも対応していることになる。また、もちろん月の初めは朔の生じる日とし、「月立ち」の意味で「ついたち」と呼び、これを1日として日を数えることにした。しかし、月末の日付は29日のこともあり、30日のこともあるので、月末を表す言葉が必要である。そこで、この日を「晦(かい)」とし「つごもり」と呼んだ。特に12月の末日のことを一年の終りの意味で、「大つごもり」と呼ぶのは、周知の通りである。

ところが、実際の長さはそれより0.030589日長いから、この無視した端数が17ヶ月ほど経つと、0.5日強になる。そこでこれを消却するため、小に当る月を大にして2回連続させる。このようにして、日付と月の形との関係を長く保持させる工夫をしている。

この方法は、朔望月の平均の長さによって計算されているので「平朔法」といって、実際の朔と大きく違うことはないが、実際の朔とは完全に一致しない。実際の朔と出来るだけ合わせようとして旧暦には多くの暦法があり、月の大小配置は複雑になっている。ちなみに現在計算されている旧暦は「天保暦」と呼ばれるものである。

暦の持つ最も重要な意義は季節を知ることであろう。季節のめぐり来る周期は前述の如く一太陽年であり、365.2422日である。朔望月の長さの12倍が一年に近いことは古くから知られていたもので、旧暦では一年を12ヶ月とするのを原則とした。

新暦では一太陽年の真価とは0.0003日しか変わらないから、毎年、春分は3月21日、夏至は6月21日、秋分は9月23日、冬至は12月22日で真価と殆んど違わない。旧暦ではそうはゆかない。そこで、実際に使われた旧暦では、月の形と日付との関連以外に、太陽年との関連すなわち季節のめぐり来りを考慮しているので、これを「大陰暦太陽暦」という。

朔望月の12倍は約354日であるので、旧暦の平年の長さ(大陰年)は、太陽年より約11日短い。3年ほどで一朔望月ほど不足する。そのまま放っておくと月日と季節がどんどんずれ、真夏に正月を迎えることもある。これでは困るので、閏月という余分の月を入れて13ヶ月の閏年を作ると、季節はまたほぼ最初の状態にもどる。

日本で実際に行われたのは、一年は平年で353日、354日、355日の3種あり、閏年では383日、384日、385日の3種あって、合計6種類あった。そこで同じ3月1日といっても季節との関連には1ヶ月近くのずれがあるので、何とか季節との関連をつける方法を用意しておかないと、種まきの日の見当もつかないことになる。そこで考え出されたのが二十四節気というものである。一太陽年の長さ365.2422日を24等分すると15.2184日になる。そこで旧暦計算の原点とされていた冬至の日時からはじめて、15.2184日ずつ離れた日時の時点を考え、これらの時点をそれぞれ交互に節気または中気と呼んだ。この合計二十四節気、中気が過ぎると一太陽年が経過したことになる。これは要するに約15日ごとの太陽暦の日付と考えればよい。旧暦のこよみには必ず記されているものである。

現在使われている旧暦(天保暦)では日数等分にもとづかず、周天360度を24等分して得られる15度を太陽が動くごとに、二十四節気を経つとすることにしている。

以上、暦のしくみについていろいろ述べてきたが、今の暦は社会組織のためのもの、経済生活のためのものであり、当直の日は何日で、給料日は25日であるということが分かればよく、故事来歴は必要ない。

しかし、暦は永い間の人間の経験と研究の結果作り上げられたものであり、新しい暦をひもとくにあたり、認識を新たにしていなければ幸いである。

(紙面の関係上、岩本会員の講話資料から抜粋、一部編集して掲載しております。)

例会情報

本日のメニュー (4月27日(ヘルシー和食))

揚物 (まぐろの串カツ 一口ヒレカツ 生野菜一式(大根、人参、水菜、貝割、ミニトマト、レモン、パセリ、パンプキンサラダ) 別猪口 割ソース)

小鉢(玉子豆腐 振り柚子(美味出し)) 御飯 白御飯(岡山県産こしひかり) 赤出汁 香物(三種)

次回のメニュー (5月11日(ミリオンダラーミール))

ビーフストロガノフ アスパラガスとグレープフルーツのサラダ デザート コーヒー